

元大山水第 43 号
元大山下第 71 号
令和元年 7 月 10 日

大山崎町上下水道事業審議会会長 様

大山崎町長 前 川

光



諮 問 書

大山崎町上下水道事業審議会条例（平成 31 年条例第 1 号）第 2 条の規定に基づき、
下記の事項について貴審議会の意見を求めます。

記

1. 諮問事項

上下水道事業経営のあり方について

2. 趣 旨

安全で安心な水の安定供給、生活環境の改善、公共用水域の水質保全など、上下水道事業は、住民生活や地域の活動に重要な役割を果たしております。

本町の上下水道事業は、昭和 40 年代の高度経済成長期に、事業を大きく推進させましたが、人口は昭和 61 年をピークに減少し、昨今の経済の低迷、節水意識の向上や節水機器の普及などから、給水量および使用水量は減少を続けております。

水道事業においては、「大山崎町水道事業基本計画」（平成 21 年度策定）ならびに「水道施設整備計画」（平成 24 年度策定）に基づき、水道施設の統廃合や更新、耐震化事業を進めてきた一方で、財政状況は維持管理経費の削減などに努めてきたものの、水道料金収入の減少から、依然として大変厳しい状況になっております。

下水道事業においては、平成 6 年には普及率 99% を達成し、その後、老朽管の計画的更新や施設と管路の長寿命化対策に取り組んでまいりましたが、平成 30 年度策定の「ストックマネジメント計画」に基づく維持管理や更新、耐震化事業を進めるうえにおいては、経営環境の改善が課題となっております。

このような中、総務省から将来にわたり上下水道サービスの提供を安定的に継続することが可能となるよう、令和 2 年度までの「経営戦略」の策定を要請されているところであります。

つきましては、今後の上下水道事業の事業計画や経営のあり方について、多角的な視点からご意見を賜りたく、貴審議会に諮問いたします。